

カトリック香里教会 主の降誕 2020年12月24日

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、／地には平和、御心に適う人にあれ。」天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。-ルカ2章-



祝 主の降誕

ローソクの明りでも、イルミネーションの灯でも、太陽の火でも照らせない、「魂の闇」を照らす「真の光」が私たちを訪れてくださり、私たちの食べ物(ご聖体)になって飼葉桶の中に眠っておられます。「私を食べてください。わたしのようになるように」と。

友のために命を捨てるほどの、無条件の愛で人を大切にする人になって 平和の人になるように。

2020年12月24日

主任司祭 昌川 信雄



イラスト by N. Masakawa